

前期選抜・後期選抜への改善について

1 改善の背景

- (1) 2月上旬に「特色ある入学者選抜」が実施され、それにともない私学の入試も1月に早まったため、中学校では1月のはじめから受検準備・手続きが本格的に始まり、落ち着いて授業に臨めない実状があり、また、2月中旬までに私学も含め中学校3年生の約7割の進路が決定していることにより、早期に進路決定した生徒がなかなか授業に集中できないという傾向があった。
- (2) 「特色ある入学者選抜」においては、多くの高等学校が、面接、作文、適性検査等を実施し、ペーパーテスト（学校独自問題）を実施する学校は半数以下であった。学校ごとの検査を実施することにより、生徒の優れた面を多角的に評価することができたが、勉強しなくても高校に入学できるのではないかとの考えも一部見受けられ、中学生の学力低下が懸念された。

2 改善の理念

- (1) 特色ある入学者選抜の理念の継承
（生徒の多様な能力・適性、意欲、努力の成果、活動経験等の優れた面を多角的に評価する）
- (2) 複数回の受検機会の保証

3 改善の結果

平成15年度から22年度まで	平成23年度から
◇特色ある入学者選抜	○前期選抜
・検査日 2月上旬（1日）	・検査日 2月中旬（2日間）
・選抜率 募集定員の 全学科で 10%～50%	・選抜率 募集定員の 普通科で 30%～60% 専門学科及び総合学科で 50%～80%
・検査内容 面接、作文、適性検査、学校 独自問題等から、1つ以上を 各学校が選択して実施	・検査内容 第1日 5教科学力検査（1教科50分） 第2日 面接、作文、適性検査、学校独自 問題等から、1つ以上を各学校が 選択して実施
・選抜方法 「各高等学校において実施した 検査の結果」、「調査書」等を資 料とし、各高等学校がその特色 に応じて総合的に判定する。	・選抜方法 「第1日の学力検査の成績」、「第 2日の各高等学校において実施し た検査の結果」、「調査書」等を 資料とし、各高等学校がその特色 に応じて総合的に判定する。
◇学力検査等による入学者選抜	○後期選抜
・検査日 2月下旬（2日間）	・検査日 2月下旬（1日）
・検査内容 第1日 5教科学力検査（1教科50分） 第2日 面接、作文、適性検査等から、 1つ以上を各学校が選択して実施	・検査内容 5教科学力検査（1教科40分） 及び各高等学校が必要に応じて 実施する検査（面接等）
・選抜方法 「第1日の学力検査の成績」、 「第2日の各高等学校において 実施した検査の結果」、「調査書」 等を資料とし、各高等学校が総合 的に判定する。	・選抜方法 「学力検査の成績」、「調査書」、 「各高等学校が必要に応じて実施 した検査の結果」等を資料とし、 各高等学校が総合的に判定する。

